DENSAN　　JEFCOM

スーパーネクスト3Eチェッカー　SEC-902
取扱説明書　PAT.P

このたびは、スーパーネクスト3Eチェッカーをお買い上げいただき、まことにありがとうございました。
ご使用前に必ず説明書をお読みください。

⚠ 警 告
● 使用前には必ず既知の電源でチェックしてください。
● 高電圧（600V以上）には使用しないでください。感電のおそれがあります。
● 本器を無断で改造したり、分解したりしないでください。重大な事故の原因になる恐れがあります。

⚠ 注 意
● 使用開始する前に検電器の外観構造等に異常がないか点検してください。
● 保管する場合は直射日光のあたらない乾燥した所に保管してください。
● 接地されてない金属管、ケース等は誘導電圧で動作することがあります。
● 雨中では危険ですので使用しないでください。取扱説明書に書いている用途以外に使用しないでください。
● 子供に触れさせないでください。

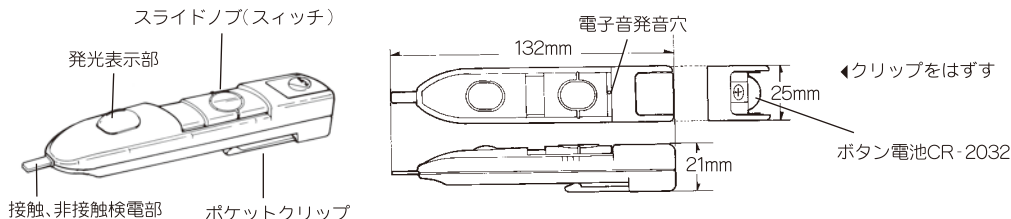
特 長

1. 超高輝度発光ダイオード（赤色LED）を採用している為、（大型表示窓・白色不透明窓）に明るく点灯し、非常に見やすく又、高性能電子ブザーから、聞きやすい電子音が鳴ります。
2. 電子回路を組込み、LED点灯と同時に電子音を発音する。
3. 非接触使用：ケーブルの被覆上に当てるだけで100V以上の検電OK（電源側・接地側の判別も可能）
4. 接触使用：コンセント等の帯電部の端子に直接接触させて区分検電（100V/200V以上）が、おこなえる。
5. 導通テスト：回路、ケーブル等の導通テストができる。
6. 電池の ＋ － 極性チェックもできる。
7. 電池の切り忘れによる電池消耗を防ぐ為、オートパワーOFF回路搭載。（約4分）

仕 様

直接検電 :AC100V
　対地電圧（80V～120V）
直接検電 :AC200V
　対地電圧（160V～600V）
被覆検電 :AC（80V～600V）
導　　通 :10MΩ以下
DC極性 :1.2V～24V

全 長 ： 132mm
重 量 ： 33g
電 源 ： リチューム電池
　　　CR-2032×1

各部名称

ご使用前にチェックしてください。

スライドノブを切の位置から導の位置に切り換えるとピッ音と同時に発光表示部がピカッと光り電源が入ります。
次にスライドノブに親指を触れ、もう一方の手で検電部に触れるとピー音と同時発光表示部がピカーと光ります。
このとき発光表示部の発光が弱いか、又は発光しない場合は電池が消耗している可能性がありますので、新しい電池に交換してください。

ジェフコム株式会社

使用方法

A）被覆の上から検電をする場合

スライドノブを被の位置に切り換えスライドノブに触れながら（図1）ケーブルの被覆の上から検電を行う。（検電部の平らな部分を被覆に当てる様にしてください）非接地側の被覆に触れた場合は、早い断続音と断続発光します（図2）
接地側の場合は、音も光も反応しません。

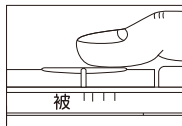



図1

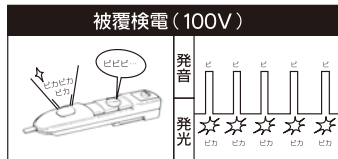



図2　早い断続音と断続発光

B）直接導体に触れて検電する場合

スライドノブを直の位置に切り換えスライドノブに触れながら検電を行う。（図3）

①直接検電　AC100Vの場合
非接地側の導体に触れた場合は、1回の断続音と1回の断続発光します。（図4）接地側の場合、音も光も反応しません。

②直接検電　AC200V以上の場合
非接地側の導体に触れた場合は、2回の連続音と2回の連続発光します。（図5）接地側の場合は、音も光も反応しません。尚、単相3線式の200V及び3相V結線（動力、電灯併用の場合）の2本の線は対地電圧が100Vであるため直接検電AC100Vと同じ動作状況となります。又、3相V結線（動力、電灯併用の場合）の他の1本の線は対地電圧は173VになりますがAC200Vの対地検電の動作状況となりますのでご注意ねがいます。3相のV結線（動力専用の場合）△結線、Y結線においては、そのうちの1本は接地されていますので音も光も反応しませんが他の2本は200Vの対地検電ができます。

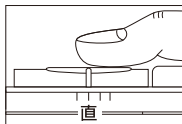



図3

図4　1回の断続音と1回の断続発光

図6

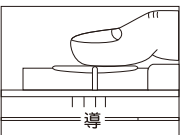



図5　2連続音と2連続発光

C）導電チェックする場合

スライドノブを導の位置に切り換えスライドノブに触れながら（図6）片方の導体に手を触れると共に、もう一方の導体に検電部を当てると（図7）導通している場合は連続音と連続発光します。（図8）

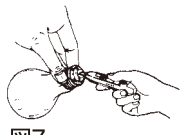



図7

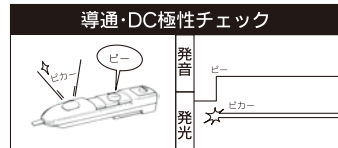



図8　連続音と連続発光

D）直流電源の極性をチェックする場合

スライドノブを導の位置に切り換えスライドノブに触れながら（図6）片方の端子に手を触れると共に、もう一方の端子に検電部を当てる（図9）
検電部を当てた部分が⊕の極性の場合は、連続音と連続発光します（図8）
検電部が⊖の場合は、音も光も反応しません。尚、電源の電圧が0.6V以下の場合は極性の判別は出来ません。

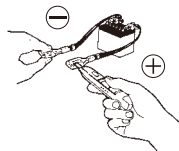



図9

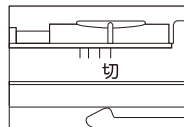
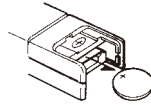
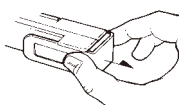



図10

E）ご使用終了時

スライドノブを切（図10）の位置にしてください。尚、切り忘れた場合でもオートパワーOFFしますが、この場合は、次に使用する際一度切の位置に戻してから再度スライドノブを検電機能に合わせてご使用ください。

〈電池の交換〉

1）ご使用前のチェックに記載されている内容の症状の時は、電池を新しいものと交換してください。
2）クリップをはずし、ボタン電池CR-2032を本体ケースの⊕表示に注意して電池の極性を確かめて交換して下さい。

ジェフコム株式会社
営業本部　デンサン工具事業部
〒579-8014 東大阪市中石切町3-13-16

PRINTED 02.7